

クジラやイルカ、アザラシ、トドなど、洋上風力施設の建設予定海域に生息する生物は事前に把握しておく必要があります。

# 海棲哺乳類調査

かいせいほにゆうるいもくしちょうさ  
**海棲哺乳類目視調査**

☑ 呼吸のため海面に浮上する海棲哺乳類を観察し、生息状況を把握します。

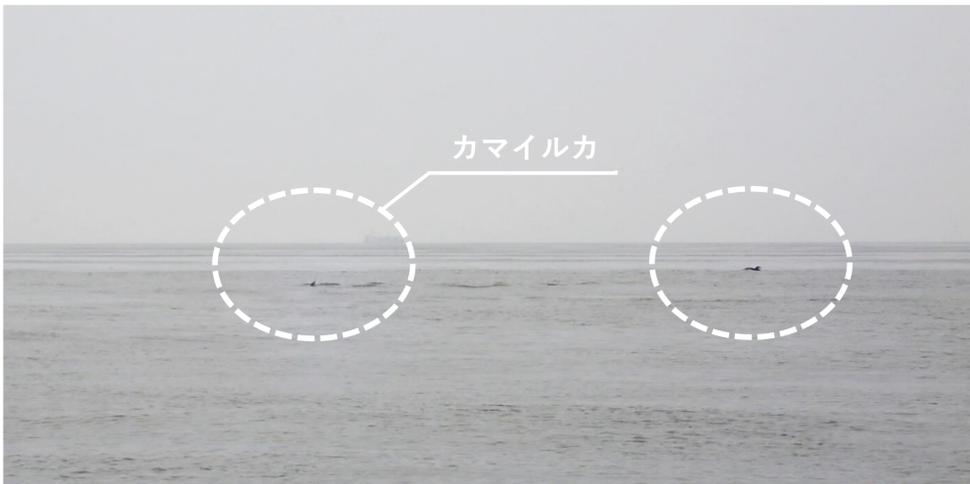
**調査手法**

- 建設予定海域に調査測線を設定します。
- 測線上を一定速度で航行し、船上から目視観察します。
- 野生の海棲哺乳類を発見した際に、発見位置・種類・個体数・行動などを記録します。



**実際の観察の様子**

背びれ、しぶき、行動などの特徴から種を同定します。



調査・解析で得られた結果はご要望に応じて取りまとめます。海棲哺乳類に関する調査や、解析・評価について、お気軽にご相談ください。

エコニクスHPはこちら



こがたげいるいめいおんかいせき  
**小型鯨類鳴音解析**

☑ 鯨類は、海の中で音を発します。この音を利用して、水中の鯨類の生息状況を把握します。

**餌の探索**



**仲間との会話**



**解析手法**

- MMT社製A-tagで取得したデータをご提供頂きます。
- データ処理により雑音を除去します。
- 音圧、音の間隔・方向から小型鯨類の鳴音を選別します。
- 選別した鳴音データから、小型鯨類の種類(科)を判別し、出現日・時間帯などを整理します。

**実際の解析画面(例)**

判別結果から、鯨類の出現状況を報告書にまとめます。

